

「どうする？日本のお産」 ディスカッション大会

全国で産科・産院施設が数多く閉鎖しています。
分娩予約のとれない妊婦さんが急増しています。
地域のお産を一手に引き受ける施設では
十分に妊産婦さんのケアができず困っています。
ベット数も増やせません。

過重労働で苦しんでいる医師・助産師がますます増えていくと予想されます。
妊産婦さんが安心して安全に出産するにはどうしたらいいでしょう。

医療者がよりよいケアを提供でき、
かつ人間的にゆとりももてる暮らしをするにはどうしたらいいでしょう。
産む場所をもとめて困惑している妊婦さんを、どうしたら救えるでしょう。
地域で、施設間でどのような連携をしたらいいのでしょうか。

医師、助産師・看護師・一般の女性、男性、教育者、
母子保健、育児支援に携わる人、みんなで現状を語り合い、
それぞれの問題点やニーズを知り、
これから誰が何をしていくべきかを一緒に考えませんか？

[午前]

「いっちゃえ現状 私の言い分
～まずは知り合うことから～」

[午後] グループディスカッション

「誰が何をやる？」

どんなアイデアでもOK。現実的でなくても、
ばかばかしくても、現行法にそぐわなくても、
おちゃらけていても、躊躇しない
で、まずは思い浮かぶことをどんどん出して
みてください。誰かにわかってもらおう
と思わなくていいし、すべての人のためになら
なくてもいい。とにかく、今まで考え付
かなかった方法を、たくさんたくさん、具体的
に出してみましょ。

お申し込みは次のURLからどうぞ！

<http://do-osan.socoda.net/>

(うまくできない場合は問い合わせ先にご連絡ください)



2006年05月14日(日)

10時開場 10:30～16:00

横浜市社会福祉センター 4階ホール
(最寄り駅 JR/市営地下鉄 桜木町駅)

【参加費】

医療者 1,500円
一般・学生 500円

※保育はありませんが子連れOKです。

【問い合わせ】

熊手麻紀子

メール kumade@kumademakiko.com

携帯 080-3460-8858

